

重大な事故が発生した場合に備えて、 「事故自動通報システム」を 備えた自動車に乗りましょう。

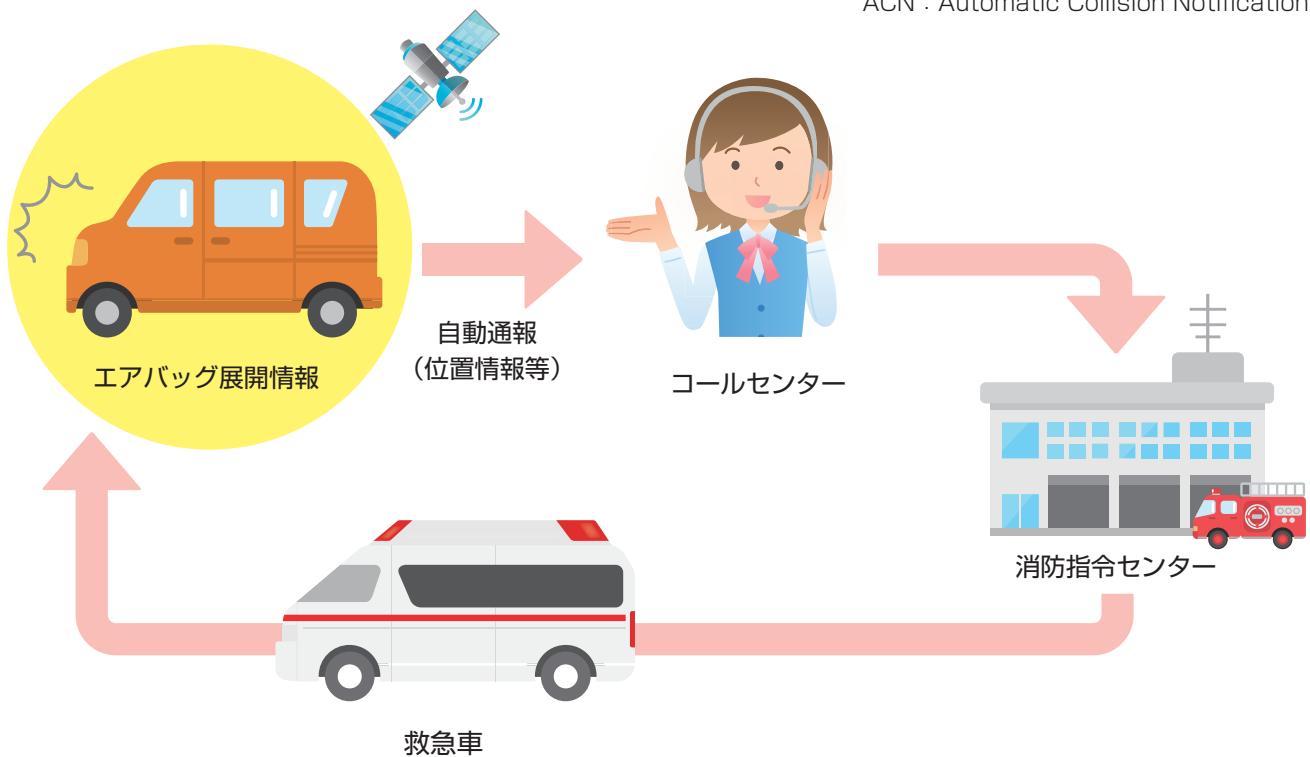
重大な事故が起きた時に、自動通報により高い救命効果を実現する
「事故自動通報システム」をご存知ですか？

事故自動通報システム(ACN)の概要

近年、生命に危険を及ぼすような傷害を負う重大な交通事故が発生した場合に、必要な情報を自動的に通報する
「事故自動通報システム(ACN)」を備えた自動車が販売されています。

この「事故自動通報システム(ACN)」は、エアバッグが展開するような大きな交通事故が発生した時に本人や目撃者の代わりに自動車から自動的に事故が発生した地点等を通報することができるようになっており、また、通報を受けたオペレーターは、運転者に呼びかけて応答がない場合は、消防指令センター(119番)に対して意識の有無を伝えることができますので、消防指令センター(119番)は、迅速に対応することが可能となります。

ACN : Automatic Collision Notification



「事故自動通報システム(ACN)」は、高い救命効果があります。

重大な交通事故によって生命に危険を及ぼす傷害を負った場合、医師による治療までの時間が長くなると、救命率が低下するとともに、後遺症発生リスクも高くなります。このため、一刻も早く医師による治療を受ける必要があります。しかし、事故自動通報システム(ACN)がないと、以下のような状況が発生します。

- エアバッグが展開するような大きな事故等で、自ら通報することができなくなった場合、周りに誰もいないと、交通事故が起きたことが伝わりません。
- 周りに人がいたとしても、交通事故でどの程度の傷害を負ったかわかりにくいため、消防指令センター(119番)への連絡が必要かどうかの判断が難しく、通報に時間がかかることがあります。

「事故自動通報システム(ACN)」を備えた自動車により、自動的に通報が行われた場合では、事故発生から医師による治療開始までの時間が大きく(4分程度)短縮できるため、交通事故による死者数を年間当たり約70人減らせる可能性があります。

ACNの救命効果

治療開始時間の短縮！(4分程度) → 約70人/年の死者数減！

事故自動通報システム(ACN)を発展させた「先進事故自動通報システム(AACN)」があります。

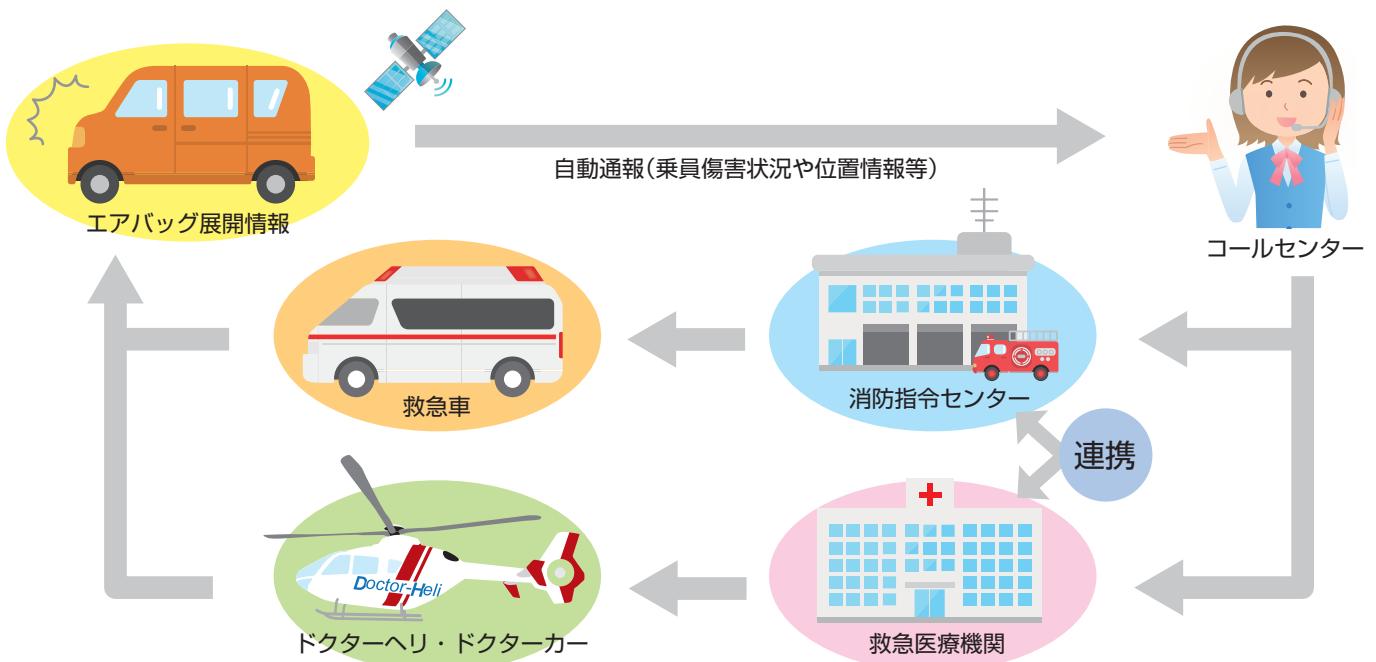
「先進事故自動通報システム(AACN)」は、エアバッグが展開するような大きな交通事故が発生した時に、自動車から自動的に通報される事故時の情報に、車内乗員の傷害の状況を予測することができる情報が含まれています。このため、通報を受けたオペレーターは、消防指令センターや救急医療機関に位置情報や車内乗員の傷害状況予測を伝えるとともに、消防指令センターは救急医療機関と連携し、救急車やドクターへリ、ドクターカーを出動させることにより、事故現場到着時間が短くなり、即座に治療を開始することができます。

AACN : Advanced Automatic Collision Notification



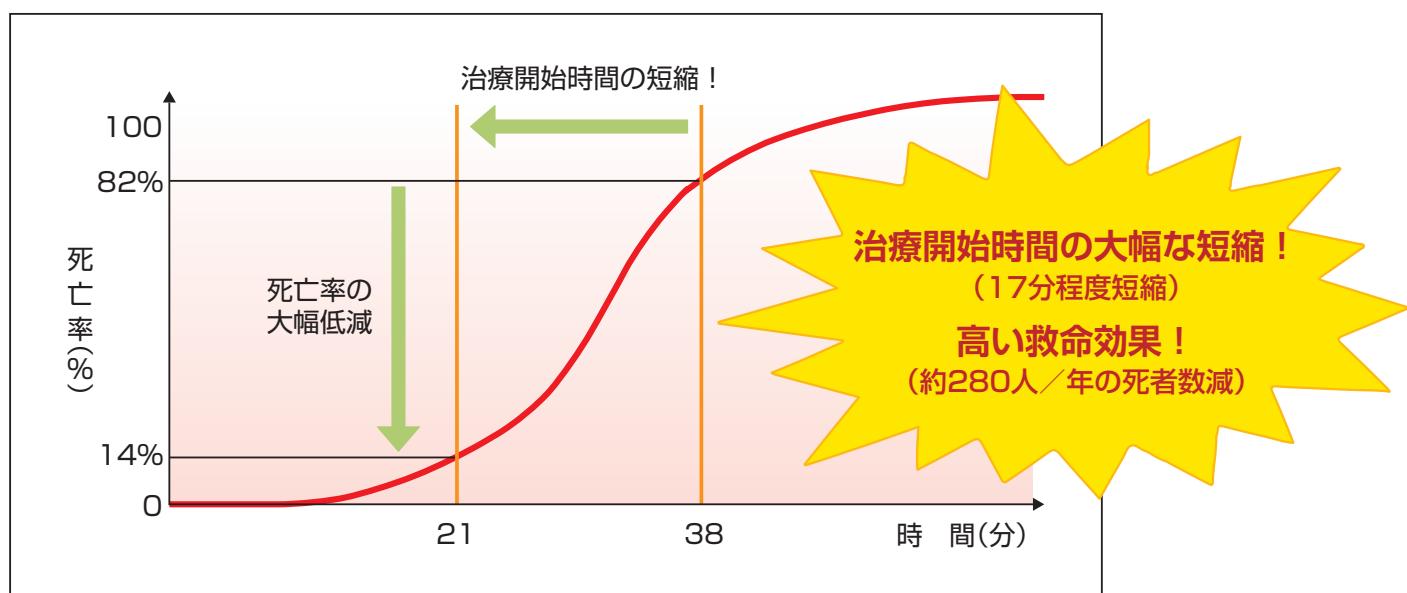
地域の状況、天候、時間帯によってはドクターカー、ドクターへリが出動できない場合があります。

写真提供：認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク



「先進事故自動通報システム(AACN)」の効果

■ 事故発生からの時間経過と死亡率 - 大量出血例 -



「先進事故自動通報システム (AACN)」を備えた自動車の普及が進んだ場合、事故発生から医師による治療開始までの時間が飛躍的に（17分程度）短縮できるため、交通事故による死者数を年間当たり約280人減らせる可能性があります。

より高い救命効果がある「先進事故自動通報システム(AACN)」の運用体制は拡大しています。

「先進事故自動通報システム (AACN)」の運用は2015年からはじまり、徐々に拡大しています。

自動車ユーザーの方々による「先進事故自動通報システム (AACN)」を備えた自動車の購入が進めば、対応する救急医療機関の数も増大していくことが見込まれます。





事故自動通報システムを備えた自動車を選びましょう

「事故自動通報システム」を備えた自動車を探すには、

1 関心がある自動車について、自動車メーカーにお問い合わせいただくか、最寄の自動車ディーラーにお尋ねください。

2 独立行政法人自動車事故対策機構のホームページの自動車の安全装備一覧で、「事故自動通報システム」の欄に○がある車種を選んでください(2018年完成予定)。

自動車アセスメントは
安全なクルマ選びに役立ちます!

豊富な動画コンテンツ

使いやすい条件検索

わかりやすい質問コーナー

今すぐアクセス!!

<http://www.nasva.go.jp/mamoru/>

自動車アセスメント

検索



スマートフォンや
タブレット端末からも
ご利用できます。

※一部コンテンツはご利用になれません



独立行政法人 自動車事故対策機構 自動車アセスメント部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト19階
TEL:03(5608)7587 FAX:03(5608)8610

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2017.3